

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 52

2012年4月17日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/からもご覧頂けます。

新組織設置について（ご案内）

日頃より、静岡大学イノベーション共同研究センター並びに知的財産本部の活動につきまして、格別のご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

本年4月1日より、両組織は地域連携協働センター並びに生涯学習教育研究センターと共に、産学連携と地域連携に関わる戦略を全学的な観点から確立し、弊学の教育研究成果を社会に積極的に還元することにより地域発展に資するため『静岡大学イノベーション社会連携推進機構』として、新たにスタートしました。

本機構には、以下の一室・三部門を置き、イノベーションの推進や社会連携の強化に取り組んでまいります。

- ・戦略企画室：戦略策定、企画立案、専門職人材育成、情報収集発信等
- ・研究推進支援部門：研究費申請支援、研究シーズ育成、知財管理等
- ・研究活用支援部門：共同研究推進、技術移転、ベンチャー育成等
- ・地域連携生涯学習部門：地域連携、公開講座、大学開放事業の推進等

今後とも関係者の皆様には、なお一層のご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

国立大学法人静岡大学
理事（社会・産学連携担当）、副学長
イノベーション社会連携推進機構長 柳澤正

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. B10 tech2012「アカデミックフォーラム」に出展します
2. 静岡大学食品・生物産業創出拠点 第29回研究会（一般公開）案内
3. 「静岡大学との連携による新技術説明会」を開催します

※問合先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更しています。メール送信の際は○欄に@を入れてください。

1. B10 tech2012「アカデミックフォーラム」に出展します
～併催：第11回 国際バイオテクノロジー展～

日時 2012年4月25日（水）～4月27日（金）

会場 東京ビッグサイト 東ホール

内容

- 4月26日（木）11：30～12：00 ACA-6
「深部地下水の微生物群集を使ったエネルギー生産システム」
（理学部 木村浩之講師）
- 4月26日（木）13：30～14：00 ACA-2
「糖鎖を活用した機能性材料の開発」
（創造科学技術大学院 尾形慎特任助教）
- 4月27日（金）11：30～12：00 ACA-9
「新規医薬品ターゲット、ステロイド膜受容体作用分子の
アッセイ法の開発」

(理学部 徳元俊伸教授)

詳細/申込 <http://www.bio-t.jp/>
問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
E-mail bioexpo-s@cjrr.shizuoka.ac.jp

2. 静岡大学食品・生物産業創出拠点 第29回研究会（一般公開）案内

日時 2012年5月18日（金）13：15～17：00
場所 静岡県男女共同参画センター あざれあ 6F 大ホール
主催 静岡大学食品・生物産業創出拠点
後援 公益財団法人 静岡県産業振興財団（予定）
講演

主題：食品の安全性と放射能

- ① 「テーマ未定」13：15～14：45
静岡大学理学部 附属放射科学研究施設 施設長 奥野 健二 氏
- ② 「放射性物質の食品への影響と食品総合研究所の緊急対応について」
14：55～15：55
独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構
食品総合研究所 食品安全研究領域長 川本 伸一 氏
- ③ 「テーマ未定」15：55～16：55
財団法人 日本食品分析センター
多摩研究所 衛生化学部 部長 野村 孝一 氏

問合せ 静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局
E-mail hope-jnp@cy.tnc.ne.jp

3. 「静岡大学との連携による新技術説明会」を開催します

日時 2012年6月8日（金）13：00～16：10
会場 科学技術振興機構 東京本部別館ホール
(東京都千代田区五番町7 K's五番町)

内容

1. 「微小荷重用引張試験機の開発と金属箔の引張試験への適用」
工学部機械工学科 助教 藤井朋之
2. 「水溶液中の高溶解性有害陰イオンの新除去技術」
機器分析センター 准教授 近藤満
3. 「地下圏微生物を利用した新規エネルギー生産システム」
理学部地球科学科 講師 木村浩之
4. 「微生物を用いた迅速なポリ乳酸分解法」
農学部応用生物化学科 准教授 徳山真治
5. 「CdTeフォトンカウンティング型
小型ガンマ線エネルギースペクトル取得型線量計」
電子工学研究所 准教授 青木 徹

問合せ 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
E-mail ip-office@cjrr.shizuoka.ac.jp TEL 053-478-1414

《 みんなのコラム -51- 》

記：創造科学技術大学院 教授 竹林洋一

音響信号処理で研究をスタートし、東芝ではパターン認識、音声対話、
ページ(2)

人工知能、ヒューマンインタフェース、Bluetoothの研究実用化に従事しました。2002年に「文工融合」の理念に共感して本学情報学部に移り、知的クラスター創成事業(浜松オプトロニクスクラスター)に参画し、クルマが周囲の状況と運転者の意図をセンシング(理解)して安全運転を助ける「マルチモーダル・ビークル」や、次世代カーナビ「寄り道支援システム」を開発しました。

これらの成果を基に、2004年に複数の教員で「情報技術と映像コンテンツ」を両輪とする大学発ITベンチャー「デジタルセンセーション社」を設立しました。教育、医療・介護の高度化に向け、WEB映像メディア基盤と知識映像コンテンツ技術の開発に注力しています。

我が国の電子情報通信産業は、「技術指向」で材料、デバイス、情報通信機器などの性能向上に注力し成長してきました。デジカメ、携帯電話、薄型TVなどのデジタル映像機器の業界も多様な商品を開発し、世界で抜群の地位を築きましたが、この数年で急速に国際競争力は低下してしまいました。

いつでも、どこでもクラウドコンピューティングを安価に使えるデジタル情報基盤が実現されてきたので、従来型の「石屋(材料・デバイス)」、「箱屋(機器)」、「土管屋(ネットワーク)」などの狭い「専門」という呪縛にとらわれていると、豊かな価値は創れません。「人間社会の問題解決や価値創造にコンピューティングパワーを活用する」というグローバルな発想が必要です。社会インフラ整備、プライバシー確保、美しさの追求、ビジネス開発など、「土建屋」「法律家」「デザイナー」「経営者」的視点も研究開発に必要な時代になったと言えます。閉そく感があり混沌とした時代は画期的な研究を進めるチャンスですので、静岡大学の「絆」で皆さんと一緒に価値創造を目指したいと思います。

私たちは、「現場主義とグローバル」な姿勢で、「浜松国際ピアノコンクール」のライブ映像配信、「浜松子育てフォーラム」、「広がる博物館」、「アラブ社会との新たなる交流」、「高齢社会における医療・介護の高度化」に取り組んでいます。皆さんとのWin-Winのコラボで「価値創造型」の研究開発をしたいと思います。ご支援ご指導をお願いします。

《 編集後記 》

静岡大学は、首都圏における教育・研究・産学連携・同窓会の活動拠点として、平成16年に「静岡大学東京事務所」を東京の田町に設置しました。

当事務所は、大学院の遠隔講義や各種打合せ、企業の方との技術相談など様々な用途で活用されています。

本年4月、5階506号室から6階612号室へと移転しますが、引き続きご利用いただけますので、遠方でご相談等に不便を感じていらっしゃる方は、ぜひお問い合わせください。

* — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — * —

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、sangakukoho50cjr.shizuoka.ac.jp までお願いします。(↑送付の際は〇欄に@を入れてください。)

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構
編集：原典子
編集責任者：木村雅和

Vol. 52_12.04.17

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

Copyright(c) 2008-2012

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved